

e-ビーフNEWS 北の牧場から

June 2016

十勝の新緑

気温の上昇とともに一気に緑が増えています。先日は、30℃超えと真夏日。東京を追い抜いて全国でもトップの気温になりました。相変わらず風は強く、そのせいで日高の山並みが稜線クッキリと見えます。残雪の白さが模様を残し紺青色した山を見てると吸い込まれそうです。

先日、世界ジオパークに認定されたアポイ岳に登ってきました。毎年5月の連休明けに仲間と登る慣例行事で、今年の根性試してみたいなものです。根性に限界を感じていますが…登る途中には、まだ高山植物がつぼみ状態、チシマ桜も昨年ほど開花がしていませんでした。風が強く吹き飛ばされそうななかで、襟裳岬からの青々とした海岸線や残雪の残る日高の山並には、ヒイヒイ登った疲れも飛んでゆきました。また来年も挑戦できるかなそんな思いを残し下山しました。

十勝の農村風景 種まき後のうね山が線状に縞模様に広大な畑につながっています。小麦の緑の圃場とパッチワークを作っています。牧場には、牛舎に押し込められていた牛たちが広々とした草地に解放されてのびのびと草を食べています。北海道を彩るライラックも満開。今ですよ来られるのは。



活動のお知らせ

- 5月27日(金) 札幌/酪農畜産協会 北海道アンガス牛振興協議会 第22回総会
 全頭アンガスの血統登録の実施・生産データの集約を決定(写真)
 第6回北海道肉専用種枝肉共助会 第1回実行委員会
 11月11日(金)北海道畜産公社十勝 開催決定
- 6月4日(土) 10:00~ ホテルグランテラス帯広
 第17回通常総会 第1回肉牛飼養技術研修会 & e-ビーふ試食会
- ※内容含め面白い志向なのでご参加を



NEWSばか読み

- 全国的に備蓄品需要が急増 4/23:持ち出しリュックの中身はカラでした
- 地球温暖化ガス削減パリ協定に171カ国調印 4/23:気象環境の激変やばいよ
- 東南アジア 香りビジネスに商機 4/23:全てのビジネスの商機あり
- ファミマJA全農と農産物直売所一休型店舗開発
4/25:個々の特徴が魅力なのに
- 地銀ファンド 地方大学と組み地域資源開発 4/25:地方に商機あり
- G7農相会合 動物疾病への対処検討 4/26:家畜疾病は危機的状況
- 外食 3月上35カ月ぶりに減少 4/26:消費者の節約志向が顕著
- コメ15年度調査 中食需要持ち直す 4/27:ニーズ お米のおいしさ
- チェルノブイリ事故から30年 EU追加支援100億円 4/27:日本は国民負担
- 和牛素牛市場 子牛80万円超す 肥育農家に資金繰り難
4/29:消費者離れの恐れ
- 福岡県 羊に国内初非定形スクレピー発生 4/29:警戒
- 熊本地震 鶏舎崩壊で33万羽処分 4/30:畜産農家に大きな痛手
- JA上士幌 今年度バイオマスプラント3基建設 4/30:畜産基地化の循環進む
- 台湾3期連続でマイナス成長 IT製品の輸出不振 4/30:依存度次第
- 林野庁 15年度外資の買収森林67ha累計1,232ha 5/2:木(気)になるね
- 農林水産省 飼料米収量日本一コンテスト募集 5/2:なかなか考えるね
- 食品メーカー低糖類食品人気上昇 新規商品投入
5/2:でんぶん系がおいしいけど
- タ張メロン 地域ブランド認定後も生産減続く 5/3:農業者後継者問題
- GW 近場でプチ贅沢 スーパーで高級和牛購買 5/3:価値観さまざま
- 錦鯉海外輸出が8割 一匹1,000万超す物も 5/5:海外顧客に感服
- 冷や飯 難消化性でんぶん増えダイエット食に 5/5:肥育は逆

- 北海道 道産牛肉 販促強化対策事業 5/5:高相場で効果検証
- 格安小売・外食業態が店攻勢 5/5:消費者の格差拡大
- 日立キャピタル 沖縄でイチゴ農業生産開始 5/7:企業農業参入進む
- 卵相場に異変 相場下がるがコンビニ@変わらず
5/7:コンビニの高い収益性反映
- 生乳量3年ぶりに増加 北海道1頭当たりの生産量増加が貢献 5/7:搾れ搾れ
- 雪印 機能性飲むヨーグルト好調 5/9:カゼリ頑張る
- 大手食品メーカー 野菜麺ベジタルヌードル・パスタ好調
5/9:肉食系も開発頼む
- 農林水産省 熟成肉のJAS規格化先送り 5/9:機会が熟さず
- 外食チェーン 国産路線を積極的に出し好業績 5/10:継続を
- 住民自治から地域運営組織化へ法人化 5/11:立ち上がれ地域住民
- 北海道 ドバイへホルン牛を試験輸出 5/12:意図分ならず
- 牛マルキン発動 素牛高騰で乳用種3ヵ月連続発動 5/16:ベースアップ
- カット野菜人気 サラダボール専門店続々開店 5/16:次にカット肉専門店か
- イオン欧州有機専門店と提携し生産農家を開拓 5/16:イオン戦略の兆し
- 食育白書 若年層朝食取らずで栄養バランスに乱れ
5/18:朝メシキャンペーンを
- 豪州産ブドウ解禁3年目で急増 輸入量1位 5/21:日豪EPA妥結の牛肉は
- 農林水産省 除草ロボット開発へ 5/23:ロボットパートナー期待
- 15年度和牛繁殖牛に増加の兆し 5/23:2年後か
- 乳業会社 生乳から機能性ヨーグルトに主力交代
5/24:バター・脱脂粉乳不足は
- 厚生労働省 LL牛乳の製造要件緩和
5/24:生乳の輸入に門戸解禁ならねばいいが
- 厚生労働省 2年後に食品事業者のHACCP取得義務化 5/25:食肉関連注意喚起

東京直近NEWS (5/30 Shi-REPORT)

ホルス 5月相場、4月からの高値に引き続き連休明けも出荷が少ない中高値安定の状況変わらず、@1100前後の状況。需要自体は連休やイベントの消費疲れで低迷し、量販では連休分の在庫消化が進まず、荷余り感が強い。しかしながら、相場は緩まず交雑和牛を中心に高値更新している枝肉相場となっている。販売は低迷しているにもかかわらず、枝肉相場は年末の需要期以上の高値で各社、販売には相当苦戦模様。ホルスについては、バラの荷動きが鈍くなりつつあり赤身の引合いも弱い。カタコースが比較的回合せ多く、用途としても汎用性可能なため販売は順調。販売自体は鈍いが、国産牛肉の物量確保が優先され、出荷頭数の減少での供給不足が相場高騰につながっていると思われる。現に、道内の生体市場も高値は続いており、産地相対取引も生産者に対し各社集荷強化から買い支え状況は

変わらず強い。

経産牛 5月枝肉相場はC1で@660前後と引き続き上げ状況。道内の生体市場も変わらず高値安定。乾乳期から出荷頭数減少し始め、今後さらなる相場高騰要因の可能性あり。販売については、パート関係の引合いは一定量の需要あるものの輸入ものの物流が有る程度潤沢であり、国産牛の価格訴求品も横行しており経産牛パーツの絶対引合いはやや弱まっている。挽材原料も、度重なる経産牛の値上げから輸入ものにシフトし、売り場としてもミンチの棚が縮小傾向は否めない。産地では、経産牛(和牛含む)の再肥育などでコストパフォーマンスの良い安定した品質の生産も検討されているが、肉の硬さなど品質や供給量の条件などが課題も、取組として始まっている。

左先生の畜産学研究NEWS

毎年持ち回りで開かれるサミットの日本開催は6回目8年ぶりです。2014年のロシアがクリミア併合で資格停止となり今はG7です。主要国のメンバーを見ると会議の重要度が判り、大きな成果は期待されてないようです。今年は主に財政出動で首脳の前合意が得られるかどうかです。日米と隔たりの大きいドイツや英国、フランス、イタリアなどとは同床異夢状態です。欧米と対立するロシア、核開発の北朝鮮、海洋進出強化の中国などの場合主役の動向で世界経済は流動的です。日本の農産物の関税を委ねるTPPもその流れと無関係ではありません。e-びーふNews30号の学術情報は前号にも書きましたが、日本畜産学会大会です。環リ協に関係すると思われる肉牛や飼料米の発表が36題ありました。紙面の都合で全ての内容を解説することはできず抜粋とします。

2016.3.28日本畜産学会第121回大会(日獣大:武蔵野市)

1) I-29-18 黒毛和種牛ルーメン細菌叢の網羅的解析と重要細菌群の特定(川西由希子他、北大院農)

黒毛和種肥育牛から経口採取したルーメン内容物をDNA抽出、PCR菌叢解析し、総菌数の30%以上を占めるデンプン分解菌と思われるButyrivibrioグループ他4種が5重要菌群と考えられました。

2) I-29-24 微断極短穂型飼料稲WCSの給与が黒毛和種去勢牛の肥育成績に及ぼす影響(福馬敬紘他、広島畜技セ)

βグルテンの少ない極短穂型飼料稲品種の「たちすずか」を切断長11mmで微断極短WCSに調製し、発酵TMRの飼料原料として黒毛和種去勢肥育牛に給与して、BMSや増体成績からその効率的な牛肉生産の可能性が示されました。

3) II-29-13 麹菌を活用した飼料米調整方法の検討(渡邊潤他、秋田県畜試)

飼料用米の機能性付与と目的に乾燥白米と玄米を破碎・吸水後、焼酎白麹菌を27℃48時間増殖させると、玄米の酵素力価が上がり、第一胃内乾物消失率はそれぞれ76%,96%に到達しました。

4) P-28-18 放牧地を活用した和牛の特性調査 3.去勢肥育牛の産肉性に及ぼす影響(鈴木英俊他、家改セ)

黒毛和種、褐毛和種、日本短角種を10ヶ月齢までの初期成長期の自然哺育と放牧育成は人工哺育と濃厚飼料給与の対照よりも放牧特性の高い品種の増体を高め、受胎率などの繁殖特性に有意差を生じませんでした。このことは肥育期の枝肉成績に反映し、初期成長期の飼養環境の違いは産肉特性に影響する可能性があります。

5) P29-24 黒毛和種由来胚盤胞期胚におけるゲノム育種価推定の試み(坪野佳奈子他、全農飼中研)

黒毛和種のゲノム育種価を胚段階で推定する試みを経膈採卵と体外受精で作出した胚盤胞期胚で行い、栄養膜細胞部分切除15細胞をゲノム増幅した結果は100細胞からの結果と同等の育種価が得られました。

2. 2016.3.26.栄養生理研究会 春季集談会(日獣大:武蔵野市)

グルカゴン様ペプチド1(GLP-1)の反芻動物における特異的な分泌と作用について(杉野利久他、広大院生園科研)

家畜の唯一の同化ホルモンとされるインスリンの分泌は離乳前後の子牛でもGLP-1により血糖非依存的に生来的に弱く分泌刺激されることが明らかにされ、このことを理解した牛など反芻動物の栄養管理が必要と思われる。

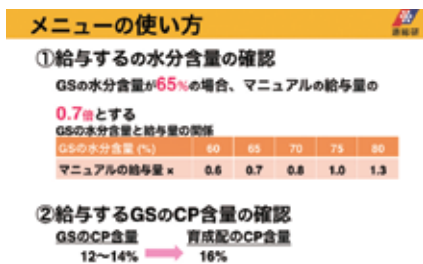
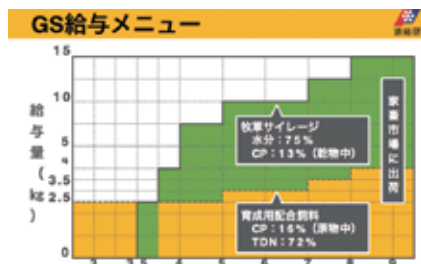
道総研 畜産試験場NEWS

「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」② 全6回シリーズ

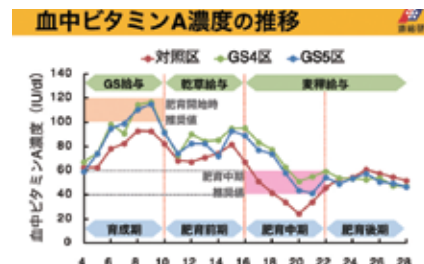
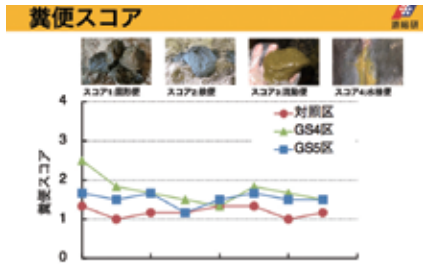
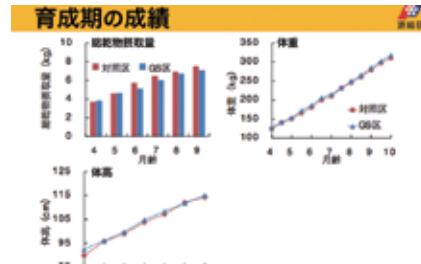
畜産試験場 肉牛グループ 遠藤 哲代



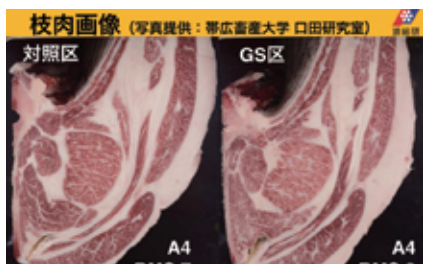
① 育成期のGS給与法



GSへの慣らし					
1日1頭当たりの給与量 (kg)					
	1~3日	4~6日	7~9日	10~12日	13日~
乾草	1.0	0.8	0.5	0.2	0
GS	0.5	1.0	2.0	4.0	マニュアルに準拠
配合飼料	2.5				



肥育後の枝肉成績 (28か月齢で畜)		
	GS (so3)	H26全道平均
枝肉重量 (kg)	461	490
ロース芯面積 (cm ²)	59.2	58.0
バラ部厚 (cm)	7.7	8.0
皮下脂肪厚 (cm)	2.5	2.3
歩留り	74.2	74.1
BMS No.	6.1	6.1
BCS No.	3.9	3.8
締りきめ	3.7	3.8



育成期の1頭あたりの飼料費 (円)		
	GS	乾草
乾草	—	19,940
牧草サイレージ	14,303	—
配合飼料	27,818	36,812
圧べんとうもろこし	5,516	—
合計	47,637	56,752

